



## プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。



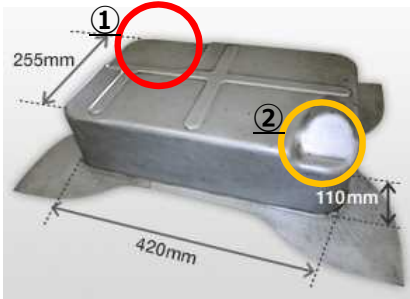
### アルミの絞り加工品でも均一な板厚を実現



ワーク名称：タンク 加工方法：絞り加工  
業界：航空 材質：アルミ

こちらの製品は、航空機の一部品として使用されるアルミ部品です。製品の材質は、軽量化を考慮した結果、アルミニウムが使用されており、当社に依頼がある以前もプレス加工による成形を行っていました。しかし、アルミ材は軟質材であることから、絞り加工の難易度が高い材質と言えます。お客様が依頼されていたサプライヤーでは、写真に示している角部の板厚が30%近く減少しており、強度面、品質面でも使用できないということでお困りでした。そこで、当社では対向液圧プレス機により加工を行う事で、数%程度で納めることに成功しています。軟質材であるアルミの絞り加工で、均一な板厚の高品質の製品提供は加藤製作所にお任せください！

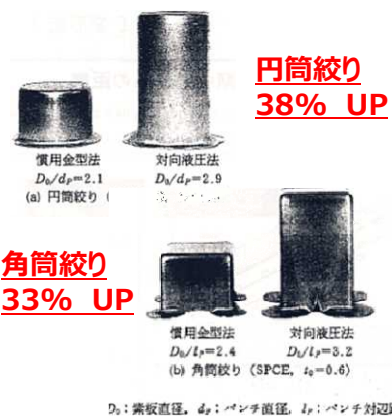
### 3工程を1工程に削減する金型コストダウン事例！



ワーク名称：タンク 加工方法：絞り加工  
業界：電器 材質：SECC

こちらの製品は、内蔵型の家庭用暖房機の燃料タンク部品です。材質にSECC（電気メッキ鋼板）を使用しています。写真にあるように、角部の形状が様々で角、丸、異形状となっており、一般的には3工程（金型を3種類使用）に分けて、プレス加工を行っていました。しかし、工程を分けるということはコストアップを意味します。その為、コストダウンを図る為に工程集約ができないかとの相談を行いました。そこで、対向液圧プレスを用いて、3工程から1工程へと集約することに成功しました。当社が保有する対向液圧プレスであれば、既存のプレス品の工程削減が可能となります。気になる形状の製品がございましたら、絞りの加藤製作所に一度相談ください。

### 当社の加工技術・加工領域に関するご紹介



#### 対向液圧プレスによる絞り加工技術②

前回のニュースに引き続き、対向液圧プレスによる絞り加工技術についてご紹介をいたします。一般的に使用される機構を用いたプレス加工機は、絞り深さを出すことができず、深絞り加工品は複数工程に分け、加工が行われ、コストアップに繋がります。一方で、当社の対向液圧プレスを用いると、大幅に限界絞り比が向上されるために（円筒絞り38%、角筒絞り33%）、3工程かかっていた絞り加工から、1工程の絞り加工へと工程集約が可能となり、リードタイム短縮・加工コストを大幅削減が可能となります。絞り加工で特に、異形状・深絞り加工品のコストダウンは当社にお任せください！

### ～今月の一言～



#### 今後の展示会出展スケジュール情報！

絞りの加藤製作所では、技術力向上を目的に、様々な分野の展示会出展を行っています。8月までにも多くの展示会に出展をおこなってまいりましたが、9月～11月の日程でも、下記の5つの展示会に出展を予定しています。プレス加工でお困りの方は、ぜひともお越しください。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 9月11日(月)        | ジェイテクト@奈良     |
| 9月26日(火)～28日(木) | エアロマート名古屋     |
| 10月12日(木)       | マッチングフェアin名古屋 |
| 11月8日(水)～11日(土) | メッセナゴヤ2017    |
| 11月21日(火)       | 三行ビジネス商談会     |

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

しぼりかこうドットコム  
**絞り加工.COM**

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松 (アシスタント 吉田)